



岡山県原水協通信

2012年2月6日 No200
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市北区西島田町4-25
TEL086-244-4526 (F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

2月度(第45回)6・9行動をしました。 米国人も「核兵器NO」と気軽にサイン

岡山県原水協は2月6日、2月度(第45回)6・9行動を行いました。この日の行動には県労会議、自治労連、高教組、医労連、人権連、平和委員会、事務局から12人が参加しました。

中尾県代表理事、伊原県労会議事務局長、平井県原水協事務局長は「まもなく58回目の3・1ピキニデーを迎えます。広島型原爆の1000倍の巨大な水爆実験で日本のマグロ漁船などが被曝し、久保山愛吉さんがなくなりました」「広島・長崎の被爆から68年、いまでも2万発の核兵器が貯蔵・配備されています。22万人の被爆者の平均年齢は75歳。高齢の被爆者は自分たちの命のあるうちに地球上から核兵器の廃絶をと原爆の後遺症と戦いな



写真は いずれも2月6日の岡山駅前での6・9行動の様です。左下は署名に応じる米国の女性です。



から訴えています」「昨年の2月から始まった『核兵器の全面禁止のアピール』署名は2010年NPT再検討会議の確認の上に核兵器禁止条約の交渉開始を求めるものです。私たちの一筆一筆が国際政治を大きく動かしています。寄せられた署名は国連に届けます」とマイクで訴えました。



12時15分から昼休みを利用した宣伝行動でしたが、22筆の署名が寄せられました。またちょうど通りかかった外国人の集団が「何をしているのか」と問いかけ、中尾代表が「核兵器廃絶の署名だ」と応えるとアメリカから来たという6人が署名に応じてくれました。

**3月(第46回)6・9行動は
3月6日(火) 12:15～駅前**